

会 告



電子情報通信学会創立 100 周年記念 『電子情報通信学会マイルストーン』推薦の募集



本会は 1917 年に創立され、2017 年に 100 周年を迎えます。この節目を記念し、本会で議論され、我々の社会や生活、産業、科学技術の発展に大きな影響を与えた研究開発の偉業を「電子情報通信学会マイルストーン」として選定する事業を実施致します。この事業は、電子情報通信の研究開発の歴史と意義を振り返ると共に、次の 100 年に向けて更なる革新を起こす次代の研究者や技術者にその創出過程を伝えることを目的としております。つきましては、下記要領により募集しますので、奮って御推薦下さい。

記

1. 推薦者資格：どなたでも可（会員に限らない）
2. 推薦対象：
 - (1) 分野：本学会の研究領域（電子情報通信分野）に関係するもの
 - (2) 期間：1917 年以後、2016 年までに創出されたもの
 - (3) 対象：①学問・技術、②製品、③サービス、④学問・技術、製品、サービスに関する新概念の構築や提案。
3. 推薦方法：別紙の推薦用紙に必要事項を記載の上、メールに添付して、下記提出先にお送り下さい。なお、メールの表題を「電子情報通信学会マイルストーン推薦」として下さい。
4. 推薦件数：件数は、お一人様につき 3 件以内とします。
5. 推薦締切日：2016 年 8 月 31 日（水）
6. 発表の予定：2017 年 9 月
7. 留意事項：
 - (1) 推薦状況、選定に関するお問い合わせには回答致しかねます。
 - (2) 発表の際には、推薦者は公表致しません。
8. 個人情報の取り扱い：推薦に係る個人情報については、審査以外の目的で使用することはありません。
9. 提出先
 - ・一般社団法人 電子情報通信学会 総務部
 - 電子情報通信学会マイルストーン推薦受付係
 - ・E-mail：milestone@ieice.org

推薦用紙については、以下の URL にアクセスして下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/whatisnew/inf/milestonesuisen.docx>

<http://www.ieice.org/jpn/whatisnew/inf/milestonesuisen.pdf>

英語の募集要領については、下記 URL に掲載しております。

<http://www.ieice.org/eng/whatsnew/20160602e.pdf>

英語の推薦用紙については、以下の URL にアクセスして下さい。

<http://www.ieice.org/eng/whatsnew/milestonerf.docx>

<http://www.ieice.org/eng/whatsnew/milestonerf.pdf>

～．～．～．～．～．～．～．～．～．

輝かせたい

コミュニケーションの

夢・未来

I E I C E 100 周年

～．～．～．～．～．～．～．～．～．

◇ ◇ 電子情報通信学会創立 100 周年記念事業 ◇ ◇
——記念懸賞論文募集のお知らせ——

編集連絡会

本会は、平成 29 年 5 月 1 日に創立 100 周年を迎えます。編集連絡会では、創立 100 周年記念事業の一環として、ソサイエティごとにテーマ・内容を設定して、記念懸賞論文の募集を行います。最優秀論文並びに優秀論文は、平成 29 年 12 月号会誌（紙版、オンライン版）に掲載されます。

皆様の独創的かつ意欲的な論文をお待ちしておりますので、奮って御応募下さい。

【テーマ・内容】

●基礎・境界ソサイエティ／NOLTA ソサイエティ

「新領域の創造と新たな飛躍を目指して」

現在社会を支える重要な技術や装置の多くは、数十年前には、漫画や SF 小説における夢物語でしかありませんでした。しかし、失敗を恐れない地道な基礎研究や境界領域研究により、その夢物語は実現の足掛かりを得て、実用化されてきました。社会の今後の更なる発展を目指すためには、20 年 50 年あるいは 100 年後の電子情報通信技術において必要となる「新しい研究領域」や「新たな飛躍」などの「夢」を持つことが重要となります。今後、基礎・境界分野の研究者が取り組むべき「夢」について、自由闊達に語って下さい。

●通信ソサイエティ

「私と未来をつなぐ通信技術」

通信技術は、電話網のように通話というサービスを提供するためのインフラに始まり、今日では人と人をつなぐだけでなく、‘もの’ と ‘もの’ をもつないで新たなサービスを生み出すためになくてはならない中核技術へと進化しています。通信技術の発展は我々をどのような未来へつないでくれるでしょうか。私たちを取り巻く環境、エネルギー、自然災害、社会福祉などあらゆる側面から、通信技術とそれが切り開く未来、そして私たちの生活にもたらす恩恵について、次の 100 年を展望した論文を募集致します。

●エレクトロニクスソサイエティ

「自然と調和する 100 年先の情報通信とエレクトロニクス」

本会は、人のあらゆる活動が ICT ベースのコミュニケーション基盤で支えられ、永続的な進化を遂げる社会をあるべき未来像として描いています。その中で重要なのは天然資源の保全や環境汚染の回復などを通して地球環境を守りつつ、天災・人災等の被害を最小化する、自然と調和した持続可能社会の実現です。数十年後の近未来までの実現に向けて、目下以下に示す事項の挑戦が進められていますが、これらの更に先に待っている社会の未来像と、それを支える技術を自由に描いて下さい。

- ・自然エネルギー利用発電と新エネルギー源開拓、地球規模環境観測と災害予測
- ・地球規模の自然現象シミュレーション
- ・ユビキタス地震モニタリングネットワーク
- ・地上一月間／惑星間通信など

●情報・システムソサイエティ

「人・社会・自然を豊かにする情報システムの未来展望」

情報システムの進歩により、かつてアニメや映画の世界で登場した様々な技術が実現されてきました。その一方で高度化した社会は、新たな問題に直面しているのも事実です。そこで今世紀という時間規模で、人類の繁栄、更には、人類のみならずこの地球全体の共存の実現に必要な情報システム、または、情報システムを実現する我々研究者・技術者に求められる思想・理念などについて、自由にお書き下さい。研究者・技術者（を目指している者）ならではのメッセージを期待しています。

【賞及び賞金】

各テーマ 最優秀賞 1 件（10 万円）、優秀賞 3 件（各 5 万円）

【応募資格】

国籍及び本会会員、非会員については問いません。

【応募規程】

(1) 日本語または英語で執筆して下さい。

- (2) 一人一論文とし、ソサイエティを明記して下さい。連名は不可とします。
- (3) 自作・未発表で第三者が有する著作権等の権利を侵害しないものに限ります。本会著作権規程に違反していることが判明した場合には、審査結果発表後であっても、受賞の取消と賞金の返還を求めます。
本会著作権規程 <http://www.ieice.org/jpn/copyright/houshin.html>
- (4) 万が一、本記念懸賞論文の応募作品に対し、第三者から権利侵害、損害賠償等の苦情、異議申立があった場合は、電子情報通信学会は一切の責任を負わず、応募者が費用負担も含めて対処するものとします。
- (5) 最優秀論文並びに優秀論文の掲載にあたっては、会誌掲載記事としての体裁に整え、既定の用字・用語を用いて編集致します。また、編集作業に必要な本文・図表等のデータを依頼する場合がございますので、あらかじめ御了承下さい。会誌掲載前に著者校正があります。
- (6) 受賞論文の著作権は一般社団法人電子情報通信学会に帰属します。
- (7) 応募論文は返却致しません。
- (8) 各ソサイエティ宛て電子メールにてお送り下さい。なお、応募及び審査の状況、受賞に関するお問合せには回答しかねます。

【応募方法】

- (1) 執筆文字数は以下のとおりです。
 - ・和文の場合は、11,000 文字（図、表、文献、著者紹介含む）以内。
 - ・英文の場合は、3,000 words（図、表、文献、著者紹介含む）以内。
 原稿の1ページ目は表紙とし、タイトル、氏名（ふりがな付き）、会員種別、住所（連絡先）、電話番号、メールアドレス、学校（学部、専攻、学年）名、または、勤務先（部、課）名、及び所在地、所属学会があれば学会名を明記して下さい。
- (2) 懸賞記念論文用 WORD ファイルを参考にして作成、PDF ファイルに変換の上、添付ファイルにて送信して下さい。
- (3) メールの表題を「創立 100 周年記念懸賞論文募集（応募ソサイエティ名）」として下さい。
- (4) 他の文献からの引用箇所には、参考文献の番号を明記し、本文の巻末に参考文献の一覧表を付記して下さい。

【個人情報の取扱い】

- (1) 論文募集に係る個人情報については、論文の審査、発表、表彰、応募状況の集計、公表（会誌、ホームページ等での掲載）以外の目的で使用することはありません。
- (2) 発表の際には、受賞者の氏名を公表致します。

【応募受付開始】

平成 28 年 8 月 1 日

【応募締切】

平成 28 年 12 月末日

【問合せ・応募宛先】

基礎・境界ソサイエティ／NOLTA ソサイエティ memorialpaper_a@ieice.org
 通信ソサイエティ memorialpaper_b@ieice.org
 エレクトロニクスソサイエティ memorialpaper_c@ieice.org
 情報・システムソサイエティ memorialpaper_d@ieice.org

【審査決定】

論文の選考は、各ソサイエティ記念論文選考委員会が候補論文の審査を行った上で、編集連絡会において決定致します。

以上

～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～

電子情報通信学会は 2017 年に
創立 100 周年を迎えます。

～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～

電子情報通信学会各研究会開催案内

第一種研究会 平成 28 年 8 月 1 日～8 月 30 日

開催プログラムは変更になることがあります。
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

◎基礎・境界ソサイエティ/NOLTA ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場
信 頼 性 (R) 機 構 デ バ イ ス (EMD) 電 子 部 品 ・ 材 料 (CPM) 光 エ レ ク ト ロ ニ ク ス (OPE) レ ー ザ ・ 量 子 エ レ ク ト ロ ニ ク ス (LQE)	25 日(木) 26 日(金)	9 : 20～17 : 45 8 : 50～15 : 00	ロワジールホテル函館
超 音 波 (US)	25 日(木)	14 : 00～16 : 45	東京工業大学・大岡山キャンパス・東工大蔵前会館
応 用 音 響 (EA)	9 日(火) 10 日(水)	13 : 00～16 : 45 10 : 00～14 : 20	東北学院大学・多賀城キャンパス
信 号 処 理 (SIP)	25 日(木) 26 日(金)	13 : 30～17 : 40 9 : 45～12 : 00	千葉工業大学・津田沼キャンパス
安 全 性 (SSS)	23 日(火)	10 : 40～17 : 10	キャンパスプラザ京都
バ イ オ メ ト リ ク ス (BioX)	18 日(木) 19 日(金)	13 : 30～17 : 05 9 : 00～12 : 10	東北大学・片平さくらホール
複雑コミュニケーションサイエンス (CCS)	9 日(火) 10 日(水)	14 : 00～17 : 30 9 : 30～14 : 30	余市町中央公民館
8 月休会の研究会；回路とシステム (CAS), 情報理論 (IT), 非線形問題 (NLP), VLSI 設計技術 (VLD), 情報セキュリティ (ISEC), ワイドバンドシステム (WBS), システム数理と応用 (MSS), 思考と言語 (TL), 技術と社会・倫理 (SITE), ITS (ITS), スマートインフォメディアシステム (SIS), イメージ・メディア・クオリティ (IMQ), 高信頼制御通信 (RCC), 安全・安心な生活と ICT (ICTSSL)			

◎通信ソサイエティ

(通信ソサイエティでは、技術研究報告の完全電子化に向けた取組みのため、一部の研究会で参加費をお支払頂くことになりました。詳しくはトライアルのページ http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/special/trial2015/trial2015_index.html を御参照下さい。)

研究会名	日 時		会 場
ア ン テ ナ ・ 伝 播 (A・P)	22 日(月) 23 日(火)	9 : 55～17 : 40 9 : 30～14 : 50	長崎大学・文教キャンパス
宇宙・航行エレクトロニクス (SANE)	26 日(金)	10 : 30～17 : 00	電子航法研究所・岩沼分室
衛 星 通 信 (SAT) 無 線 通 信 シ ス テ ム (RCS)	18 日(木) 19 日(金)	9 : 30～17 : 50 9 : 00～15 : 45	東北学院大学・多賀城キャンパス
光 通 信 シ ス テ ム (OCS) 光 ファイバ応用技術 (OFT)	25 日(木) 26 日(金)	14 : 00～17 : 15 9 : 30～13 : 05	千歳アルカディアプラザ
コミュニケーションクオリティ (CQ)	29 日(月) 30 日(火)	10 : 00～17 : 05 9 : 00～16 : 25	筑波山江戸屋
モバイルネットワークとアプリケーション (MoNA)	1 日(月) 2 日(火)	10 : 30～17 : 35 9 : 50～15 : 00	神戸大学・六甲台第 2 キャンパス
インターネットアーキテクチャ (IA)	29 日(月)	12 : 25～19 : 30	IJ セミナールーム
短 距 離 無 線 通 信 (SRW)	22 日(月)	9 : 00～18 : 10	日本大学・津田沼キャンパス
8 月休会の研究会；環境電磁工学 (EMCJ), ネットワークシステム (NS), 情報ネットワーク (IN), 通信方式 (CS), 電子通信エネルギー技術 (EE), フォトニックネットワーク (PN), 情報通信マネジメント (ICM), スマート無線 (SR), 知的環境とセンサネットワーク (ASN), ヘルスケア・医療情報通信技術 (MICT), 無線電力伝送 (WPT)			

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日時		会場
機構デバイス (EMD) 電子部品・材料 (CPM) 光エレクトロニクス (OPE) レーザ・量子エレクトロニクス (LQE) 信頼性 (R)	25日(木) 26日(金)	9:20~17:45 8:50~15:00	ロワジュールホテル函館
超伝導エレクトロニクス (SCE)	8日(月) 9日(火)	10:00~18:00 9:00~17:15	埼玉大学・大宮ソニックシティカレッジ
電子ディスプレイ (EID)	2日(火)	13:00~15:20	機械振興会館
電子デバイス (ED)	9日(火) 10日(水)	未定	機械振興会館
シリコン材料・デバイス (SDM) 集積回路 (ICD)	1日(月) 2日(火) 3日(水)	10:00~16:55 9:00~16:55 9:00~15:55	中央電気倶楽部
8月休会の研究会;磁気記録・情報ストレージ (MR), 電磁界理論 (EMT), マイクロ波 (MW), 有機エレクトロニクス (OME), エレクトロニクスシミュレーション (EST), マイクロ波・ミリ波フォトンクス (MWP)			

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場
画像工学 (IE)	8日(月) 9日(火)	10:30~18:00 9:30~12:35	九州工業大学・附属図書館
コンピュータシステム (CPSY) ディバダブルコンピューティング (DC)	8日(月) 9日(火) 10日(水)	9:30~19:00 9:00~19:00 9:30~19:00	キッセイ文化ホール (松本)
音声 (SP)	24日(水) 25日(木)	13:00~17:45 10:00~14:00	京都大学・学術情報メディアセンター
ソフトウェアインタプライズモデリング (SWIM)	26日(金)	13:00~16:55	法政大学・新一口坂校舎
サービスコンピューティング (SC)	26日(金)	10:20~17:00	機械振興会館
8月休会の研究会;MEとバイオサイバネティクス (MBE), ライフインテリジェンスとオフィス情報システム (LOIS), 言語理解とコミュニケーション (NLC), コンピュータシミュレーション (COMP), 人工知能と知識処理 (AI), ソフトウェアサイエンス (SS), データ工学 (DE), パターン認識・メディア理解 (PRMU), ニューロコンピューティング (NC), 知能ソフトウェア工学 (KBSE), 教育工学 (ET), 医用画像 (MI), リコンフィギャラブルシステム (RECONF), 情報通信システムセキュリティ (ICSS), 情報論的学習理論と機械学習 (IBISML), マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント (EMM), クラウドネットワークロボット (CNR)			

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日時		会場
ヒューマンコミュニケーション基礎 (HCS)	19日(金) 20日(土)	10:20~18:20 9:00~17:50	立命館大学・朱雀キャンパス
8月休会の研究会;ヒューマン情報処理 (HIP), マルチメディア・仮想環境基礎 (MVE), 福祉情報工学 (WIT)			

◇第二種研究会発表募集案内

アシュアランスシステム研究会	9月2日(金)	宇都宮大学
第11回ネットワークソフトウェア研究会	10月20日(木), 21日(金)	大阪大学
第61回機能集積情報システム研究会	10月21日(金)	山形大学・工学部・百周年記念会館
第35回量子情報技術研究会 (QIT35)	11月24日(木), 25日(金)	高エネルギー加速器研究機構・つくばキャンパス・小林ホール

◇ ◇ CEATEC JAPAN 2016 との連携企画開催のお知らせ ◇ ◇

産業界における学会価値の向上を目的に、企業に所属する技術者が多数参加する CEATEC JAPAN 2016 と昨年に引き続き連携することになりました。CEATEC JAPAN 2016 は、電子情報通信系最大規模の展示会です。CEATEC JAPAN 2016 と連携することで、電子情報通信分野で活躍する企業技術者に本会活動を広く知って頂くことができます。更に、CEATEC JAPAN 2016 展示会に参加した技術者が研究会に参加する、あるいは、研究会に参加した研究者が CEATEC JAPAN 2016 展示会に参加するといった相互交流が期待でき、電子情報通信分野の活性化につながる活動であると考えています。

今回は特別シンポジウムとして、「次世代交通・運輸システムを実現する電子情報通信技術」及び東京支部主催シンポジウム「IoT 普及への課題と期待～ビジネス化・普及に向けた通信の越えるべきハードル～」並びに下記4件の研究会を計画しています。会員の皆様には、是非御参加下さいませよう、御案内致します。

なお、今年度の CEATEC のテーマは、企業や人の共創を鼓舞し、未来の道標として「つながる社会、共創する未来」です。

【開催日】 2016年10月5日(水)～6日(木)

【会場】 幕張メッセ 国際会議場(千葉市)

会場(国際会議場)までのアクセスは、<http://www.m-messe.co.jp/access/index.html> を御参照下さい。

【参加費】 それぞれの企画に表示

【申込方法】 当日会場に直接お越し下さい。なお、CEATEC JAPAN 2016 展示会に参加される方は、CEATEC JAPAN 2016 ホームページ (www.ceatec.com) から入場事前登録をお願い致します。(8月初旬掲載予定)

本学会が主催する内容は次の通りです。

I 一般社団法人電子情報通信学会 特別シンポジウム (参加費無料)

【開催日】 10月5日(水) 10:00～13:00

【会場】 国際会議場 2F コンベンションホール A

【テーマ】 次世代交通・運輸システムを実現する電子情報通信技術

④電子ディスプレイ研専(EID)(参加費無料)

【開催日】 10月6日(木) 13:00～17:00

【会場】 国際会議場 1F 105号室

【テーマ】 電子ディスプレイシンポジウム—人間と情報のインターフェイス—

II 一般社団法人電子情報通信学会 東京支部主催シンポジウム (参加費無料)

【開催日】 10月6日(木) 14:00～17:00

【会場】 国際会議場 1F 103号室

【テーマ】 IoT 普及への課題と期待—ビジネス化・普及に向けた通信の越えるべきハードル—

III 一般社団法人電子情報通信学会 研究専門委員会企画行事

①人工知能と知識処理研専(AI)

(参加費無料(ただし予稿集有料の場合あり))

【開催日】 10月5日(水) 13:00～17:00

【会場】 国際会議場 1F 103号室

【テーマ】 社会的問題解決のための AI・エージェント技術

②ICT スマートグリッド技術時限研専(ICTSG)

(参加費無料(ただし予稿集有料の場合あり))

【開催日】 10月6日(木) 10:00～13:00

【会場】 国際会議場 1F 103号室

【テーマ】 IoT により実現されるスマート社会基盤(仮)

③コンピュータシステム研専(CPSY)

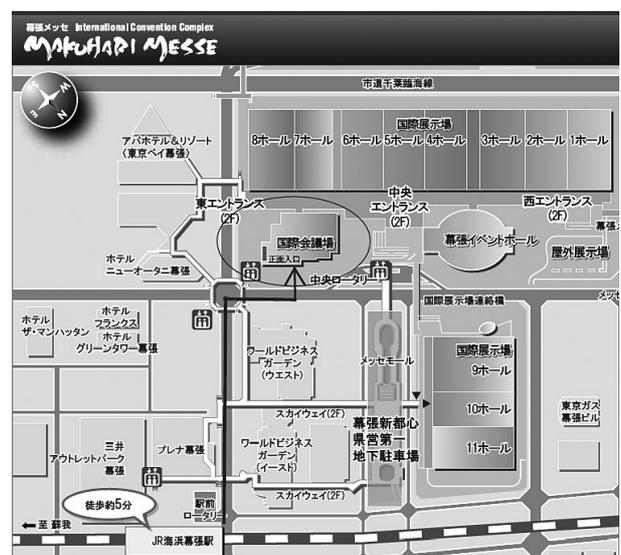
(参加費無料(ただし予稿集有料の場合あり))

【開催日】 10月6日(木) 9:00～17:00 開催予定

【会場】 国際会議場 1F 104号室

【テーマ】 萌芽のコンピュータシステム研究展示会

【国際会議場までのアクセス方法】



※ CEATEC JAPAN (Combined Exhibition of Advanced Technologies) の詳細は、www.ceatec.com を御覧下さい。

—CEATEC JAPAN 2016 特別シンポジウム—

電子情報通信学会では CEATEC JAPAN 2016 のコンファレンスの部において、これからの社会を変革する技術にフォーカスした特別シンポジウムを開催致します。

20 世紀に大きな発展を遂げた交通・運輸技術は、今まさに大きな変革期を迎えようとしています。次世代自動車は高度化した自律センサーと高精度地図、これらを用いて高度な判断を行う情報処理システム、車車間で情報を共有するための通信等によってハイテク武装することで自動走行の実現を目指しております。

また、ドローンに代表される小型飛翔体は社会の様々な側面において新たな可能性を生み出すことが期待されており、これにも自律飛行のための様々なセンサーや無線制御技術が用いられております。さらにこれらの動力源は化石燃料から電気・水素などへの転換、あるいはワイヤレス給電の採用へと多様化の方向に進んでいます。本シンポジウムでは今後の社会に大きな影響を与えるこれら次世代交通・運輸システムの実現を可能にするいくつかの基盤技術についての課題と今後の方向性について議論致します。

日 時：2016 年 10 月 5 日（水）10：00～13：00

場 所：幕張メッセ国際会議場 2 階コンベンションホール A

テーマ：「次世代交通・運輸システムを実現する電子情報通信技術」

主 催：一般社団法人電子情報通信学会

プログラム

(敬称略)

司会・進行 電子情報通信学会企画担当理事 山尾 泰

10：00～10：15 開会挨拶

電子情報通信学会会長 佐藤健一

10：15～10：40 自動走行を可能にする自律センサー技術

パイオニア(株)商品統括部部长 村松栄治

10：40～11：05 AIにより高度なマシンドライビングを可能にする情報処理システム

名古屋大学准教授 加藤真平

11：05～11：30 将来の航空・飛翔体及び測位に関する技術

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所研究統括監 小瀬木 滋

11：30～11：55 ワイヤレス給電技術

京都大学教授 篠原真毅

11：55～12：20 次世代交通・運輸システムにおける通信の役割

電気通信大学教授 山尾 泰

12：20～12：50 会場を含めた討論

12：50 閉会

◇ ◇ I-Scover 利活用コンテスト募集案内 ◇ ◇

電子情報通信学会文献検索システム IEICE Knowledge Discovery (I-Scover) の第2期システム（平成28年12月サービス開始予定）では、I-Scover が保有する文献メタデータを二次利用しやすい形で提供するアプリケーションインタフェース（API）機能を追加します。このAPIを活用することで、I-Scover の利活用法が飛躍的に拡大することが期待されます。

I-Scover プロジェクトでは、更なる I-Scover の利用を促すため、I-Scover の API の利用法を募るコンテストを開催致します。本コンテストに御応募頂いた作品は、電子情報通信学会 I-Scover プロジェクト内で厳正な審査を行い、優秀作品について、平成29年3月開催予定の総合大会（名城大学）で表彰を行います。

なお、本コンテストに先駆け、平成28年9月開催のソサイエティ大会において、I-Scover の API の一つである SPARQL API のチュートリアルセッションを行います。SPARQL（スパークル）とは、データ検索のための言語であり、I-Scover の SPARQL API を用いると、論文で使用されているキーワードのランキング（及びその推移）、特定のキーワードが付与された論文の執筆者ランキングなどの情報を入手することができるようになります。本セッションでは、演習を交えて I-Scover SPARQL API の使用法を説明致しますので、本コンテストに興味のある方は、是非御参加下さい。

■対象者：16歳以上の学生、教員、企業技術者

■応募費用：無料

■使用する API：I-Scover SPARQL API 及び OpenSearch API

■応募部門

（1）アプリケーションの部

I-Scover API を用いたアプリケーション（ツール、サイトなど）

（2）データ利活用アイデア／分析成果の部

I-Scover API を用いた研究やビジネスのアイデア、I-Scover に登録されている文献の分析を行った研究成果など

■応募条件、API仕様、提出資料等応募方法の詳細については、10月上旬に、I-Scover プロジェクト公式 HP 「I-Scover ひろば」（<http://iscover-p.ieice.org/cms/>）に掲載予定です。

■問い合わせ先：I-Scover プロジェクト普及推進チーム事務局（FukyuIS@ieice.org）

■主催：電子情報通信学会 I-Scover プロジェクト

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL〔03〕3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●鳥取大学

公募人員 准教授1名

専門分野 画像視覚化, コンピュータシヨナルフォトグラフィ, 画像解析

着任時期 平成28年12月1日(予定)

応募締切 平成28年8月8日(月) 必着

問合先 電気電子工学コース長 大観光徳

TEL〔0857〕31-6700, ohmi@ele.tottori-u.ac.jp

詳細 <http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html>

●近畿大学

公募人員 講師1名

専門分野 人工知能

応募締切 平成28年8月29日(月) 必着

問合先 理工学部情報学科長 笹野 博

sasano@info.kindai.ac.jp

詳細 <http://www.kindai.ac.jp/about-kindai/employment/index.html>

●岡山理科大学

公募人員 工学部情報工学科 助教または講師2名

専門分野 情報ネットワーク分野, データ解析分野

応募資格 博士の学位を有し, 教育・研究に対して十分な能力と熱意のある方(着任時学位取得見込み可)

着任時期 平成29年4月1日

応募締切 平成28年8月31日(水) 必着

問合先 工学部情報工学科長 島田英之

TEL〔086〕256-9507, hshimada@ice.ous.ac.jp

詳細 <http://www.ous.ac.jp/boshuu/index.html>

●立命館大学

公募人員 理工学部電気電子工学科 教授または准教授1名

専門分野 光通信システム工学(光伝送システム, 変復調・多重化, 光通信用信号処理, フォトニックネットワークシステム)

応募締切 平成28年9月2日(金) 必着

問合先 電気電子工学科学科長 鷹羽浄嗣

TEL〔077〕561-5967, ktakaba@fc.ritsumeikan.ac.jp

詳細 <http://www.ritsumeikan-trust.jp/publicinfo/recruitment/detail-se2012/>

●東京電機大学

公募人員 助教2名

所 属 理工学部理工学科電子・機械工学系

専門分野 電気電子工学関連分野

着任時期 平成29年4月1日

会告

応募締切 平成28年9月3日(土) 必着

問合先 理工学部理工学科電子・機械工学系学系長 内川義則

TEL〔049〕296-0367(学系庶務)

yukie@jim.dendai.ac.jp

詳細 <http://web.dendai.ac.jp/saiyo/>

●東京都市大学

公募人員 教授または准教授1名

所 属 メディア情報学部情報システム学科

専門分野 ソフトウェア工学(ソフトウェア設計・テスト・保守ソフトウェア開発工程, システム分析など)

着任時期 平成29年4月1日

応募締切 平成28年9月5日(月) 必着

問合先 メディア情報学部情報システム学科

主任教授 八木伸行, yagi@tcu.ac.jp

詳細 <http://www.tcu.ac.jp/recruitinformation/index.html>

●熊本大学

公募人員 大学院先端科学研究部環境科学部門 准教授1名

専門分野 知能情報工学分野(オートモーティブなどの環境適応分野や障がい者支援などの介護福祉分野への応用を可能にする画像情報処理, 音情報処理, 人工知能に関する分野)

着任時期 平成29年4月1日

応募締切 平成28年9月9日(金) 必着

問合先 大学院先端科学研究部 松永信智

TEL〔096〕342-3639, matunaga@cs.kumamoto-u.ac.jp

詳細 <http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou/>

●東京理科大学

公募人員 理工学部電気電子情報工学科 任期付嘱託助教3名

専門分野 「情報・通信・コンピュータ分野」(光通信システム・光エレクトロニクス)または「エネルギー・制御・環境分野」(宇宙システム・電力系統・分散電源)

着任時期 平成29年4月1日

任 期 5年

応募締切 平成28年9月12日(月) 必着

問合先 電気電子情報工学科主任 木村真一

koubo-2016@ee.noda.tus.ac.jp

詳細 http://www.tus.ac.jp/boshuu/pdf/koubo20160912_riko_ele.pdf

●岡山大学

公募人員 大学院自然科学研究科産業創成工学専攻 教授1名

専門分野 セキュリティ, 暗号に関連する分野, 大学院及び学部教育として情報・通信・ネットワーク関連の科目を担当できること

着任時期 平成29年4月1日以降のできるだけ早い時期

応募締切 平成28年9月13日(火) 必着

問合先 〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学工学部電気通信系学科 船曳信生

TEL〔086〕251-8147, funabiki@okayama-u.ac.jp

詳細 http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo_index.html

●青山学院大学

公募人員 ①炭素系薄膜の結晶成長・デバイス応用(助教1名),
②光電子物性, 蛍光体材料(助教1名), ③アナログ
デジタル回路設計(助教または助手1名)
応募資格 着任時に博士の学位を有し(③は修士でも可), 学生
の教育に熱意があり, キリスト教に理解のある方
着任時期 平成29年4月1日
応募締切 平成28年9月14日(水) 必着
詳細 <http://www.aoyama.ac.jp/college/science/electrical/index.html>

●東北工業大学

公募人員 工学部情報通信工学科 専任講師または准教授1名
専門分野 データマイニング, ビッグデータ分析, データベ
ース, 人工知能, ディープラーニング
応募資格 博士の学位を有するか着任まで取得見込みの方で, 学
生の教育に熱意のある方
着任時期 平成29年4月1日
応募締切 平成28年9月16日(金) 必着
問合先 情報通信工学科長 村岡一信
TEL〔022〕305-3419, muraoka@tohtech.ac.jp

●千葉工業大学

公募人員 教授, 准教授または助教 1名
所 属 工学部電気電子工学科
専門分野 電子計測・電子応用に関する分野
担当講義 電子回路, 光エレクトロニクスなど
着任時期 平成29年4月1日
応募締切 平成28年9月17日(土) 当日消印有効
問合先 工学部電気電子工学科 学科長 脇田和樹
TEL〔047〕478-0374, kazuki.wakita@it-chiba.ac.jp
詳細 <http://www.it-chiba.ac.jp/institute/adoption/index.html>

●広島工業大学

公募人員 情報学部情報工学科 教授, 准教授または助教1名
専門分野 情報ネットワークシステム, 情報処理技術に関する分野
応募資格 ①博士の学位を有する方, ②上記分野における研究業
績があり, 学協会等でも活動され, 社会的貢献をされ

ている方, ④大学院(博士前期課程)の授業及び研究
指導を担当可能な方

着任時期 平成29年4月1日
応募締切 平成28年9月30日(金) 必着
問合先 総務部 中畑佳二, TEL〔082〕921-3123
詳細 <http://www.tsuru-gakuen.ac.jp/>

●大阪電気通信大学

公募人員 通信工学科 講師, 准教授, または教授, 1名
専門分野 光伝送工学, 光エレクトロニクス
選考内容 書類選考を経て面接(プレゼンを含む)を実施しま
す。旅費・滞在費等は応募者の負担となります
着任時期 平成29年4月1日以降
公募締切 平成28年10月7日(金) 必着
問合先 情報通信工学部通信工学科主任 村上泰司
TEL〔072〕824-1131(代), mura@osakac.ac.jp
詳細 <http://www.osakac.ac.jp/etc/recruit/2016/25>

●神奈川大学

公募人員 特別助教または特別助手(任期制)1名
所 属 工学部電気電子情報工学科
専門分野 マイクロ波・ミリ波・テラヘルツ波工学, 電磁環境計測
着任時期 平成29年4月1日
応募締切 平成28年10月31日(月) 必着
問合先 工学部電気電子情報工学科主任 山口栄雄
TEL〔045〕481-5661(内線3759)
yamags18@kanagawa-u.ac.jp
詳細 <http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL: <http://www.ieice.org/jpn/books/ad/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 10月号掲載分 平成28年8月25日(木) 必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載してお
ります。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の
求人が全て御覧になれます。

URL: <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

——会誌 電子配信トライアル募集中——
——更に使いやすくなりました！——

このたびアプリの機能追加・改良を行い、更に
使いやすくなりました！

この機会に是非トライアルに御参加下さい！

会誌編集委員会では、現在、会員への更なるサービス向上を目指してスマートホンなどへの会誌のプッシュ型配信サービスの500名限定のトライアルを実施中です。

会員の方が、iPhone、iPad等をお持ちの場合(アンドロイド端末については今後対応する予定です)、簡単に毎月1日に電子配信を受けられるとともに、最新のe-pub版で構築された過去のバックナンバーやお気に入り本棚等のサービスも利用可能です。

●インストール方法：

iTunesストアから電子情報通信学会ieice会誌をダウンロードすることから始まります。

下記またはQRコードからインストールできます。

iOS端末のAppStoreから“IEICE”で検索してインストールできます。



<https://itunes.apple.com/jp/app/id957695896>

また、これに伴い、会誌モバイルサイトの内容を改訂しました。

<http://app.journal.ieice.org/>

iOSアプリのサポートページは下記に用意しました。

<http://app.journal.ieice.org/ios/support.html>

会員の場合は全ての記事を見ることができます。

●ログインするには、会員番号とパスワードを入力します。

なお、トライアル中は、バグ情報、アップデート情報、アンケート等をお送りすることがあります。お手数ですが、アクセスされましたら下記宛て御連絡下さい。

連絡先：会誌出版課 kaishi_trial@ieice.org

御協力をお願い致します。

——銀行・ゆうちょ銀行（郵便局）
口座自動引落しの割引特典のお知らせ——

銀行／ゆうちょ銀行（郵便局）の口座からの会費の自動引落しを選ばれますと、次年度基本会費から、5%割引になる特典がございます。

手続きの詳細は下記ページを御参照下さい。

本会ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/index.html>)

→会員サービス→会費について→銀行からの会費自動引落について

なお、新規にお申込みを希望される方、また口座の変更を行う方は10月1日までに依頼書を事務局宛てに御送付下さい。

——住所変更届け及び学生員申請について——

【住所変更】

ホームページ上から、会誌送付先や所属の変更をすることができます。転居等がございましたら、速やかに下記のいずれかの方法にて、事務局に御連絡をお願い致します。毎月15日までに変更申請を事務局で受理したものを、翌月号の発送から変更致します。

①本会ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/index.html>)

→会員サービス→マイページ

②本会ホームページ→会員サービス→各種届け出→住所変更届け

【学生員申請】

4月以降、大学院等への進学により学生員の継続を希望される方は、「学生員申請」をお願い致します。

①本会ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/index.html>)

→会員サービス→マイページ

②本会ホームページ→会員サービス→各種届け出→学生員申請

——平成28年8月号及び9月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

8月号 [和文] 回路とシステム

8月号 [英文] Information and Communication Systems for Safe and Secure Life

9月号 [英文] Recent Advances in Image Sampling and Reconstruction

(通信ソサイエティ)

8月号 [英文] Advanced Information and Communication Technologies and Services in Conjunction with Main Topics of APCC2015

9月号 [和文] 無線システムの拡大を担うアンテナ・伝搬及び関連システムの論文

9月号 [英文] Integration Technologies of Ambient Intelligence and Sensor Networks

(エレクトロニクスソサイエティ)

8月号 [英文] Low-Power and High-Speed Chips

9月号 [英文] Recent Development of Electro-Mechanical Devices

(情報・システムソサイエティ)

8月号 [和文] 画像の認識・理解

8月号 [英文] Security, Privacy and Anonymity of Internet of Things

9月号 [和文] 画像符号化・映像メディア処理

9月号 [英文] Knowledge-Based Software Engineering

●…………… 支 部 大 会 ……………●

●平成 28 年度電気関係学会四国支部連合大会

期 日 平成 28 年 9 月 17 日 (土)
会 場 徳島大学常三島キャンパス (徳島市)
URL <http://sjciee.org/>

●平成 28 年電気関係学会関西連合大会

期 日 平成 28 年 11 月 22 日 (火), 23 日 (水・祝)
会 場 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス (堺市)
URL <http://kjciece.org/kjciece2016>

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……●

◇関西支部

●電気三学会関西支部講演会「IoT のさらなる展開に向けた技術」

期 日 平成 28 年 9 月 16 日 (金)
会 場 中央電気倶楽部 513 号室 (大阪市)
URL <http://www.ieice.org/kansai>

◇本会・ソサイエティ・グループ・研究専門委員会等
主催・共催

●第 39 回情報理論とその応用シンポジウム (SITA2016)

期 日 平成 28 年 12 月 13 日 (火)~16 日 (金)
会 場 高山グリーンホテル (高山市)
URL <http://www.ieice.org/ess/sita/SITA2016/>

複製される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複製を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複製については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的複製に関する権利を再委託している団体)と包括複製許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複製については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複製以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Japan Reproduction Rights Center (JRRC) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619